

令和3年度

大心寺二葉保育園評価表

(A: 達成している B: 概ね達成している C: あまり達成していない D: 達成していない)

	評価の観点	評価項目	評価	評価の根拠・改善点
I 保育理念	子どもの最善の利益の考慮	・全ての園児について一人一人の最善の利益とその人権を尊重し、子どもの人格を尊重した声掛けをしている	B	<p>・令和4年度認定こども園への移行を前に、園内研修等で「幼保連携型認定こども園 大心寺二葉保育園」としての、教育・保育理念、方向性について話し合ったが、今後も共通理解を深めていく必要があると感じた。</p>
		・子どもの意思や行動を大切にしたり関わりをしている	B	
		・園の理念や保育方針・目標を理解し、実践している	B	
II 子どもの発達援助	子どもの福祉を増進することに最もふさわしい生活の場	・保育環境を常に清潔に保ち、美観を大切に心地よい環境で保育が出来るように努めている	A	<p>・園の目標や全体的な計画に基づき各年齢による子どもの発達に合わせて計画や活動を見直すことができていたと思う。また、定期的な臨床心理士による巡回相談、指導をもとに個々の発達や援助・配慮についても振り返ることができていたが、発達の特性を捉えるという点においては、職員の共有理解が難しいと感じた。</p> <p>・今後も子どもを中心にした専門機関等(保健師、療育施設、教育委員会、学校、病院他)との連携について検討していきたい。</p> <p>・今年度も行事の中止や縮小があり残念に思ったが、コロナ禍の中でも子ども達のためにできることを話し合い、時間や内容を工夫しながらできる範囲で保育活動を行うことができていた。</p> <p>・例年行っている異年齢交流も難しかったが、普段の遊びの中で、できる範囲で交流し、年長児へのあこがれや小さい子どもへの優しい気持ちや育ってきていることを感じた。</p>
		・一日の生活の流れに無理が無いように配慮し、保育環境の安全と清潔が保たれている	A	
	生活と発達の連続性	・好きな遊びを十分に楽しめるように計画し、働きかけを行っている	A	
		・一人一人の子どもの発達過程に合わせた目標や計画を作成し保育している	B	
		・重要な申し送り事項を記録し、進級時等に引継ぎをしている	A	
	養護と教育の一体的展開	・子どもの生活を24時間でとらえ、家庭(保護者)や職員間で連絡・連携している	B	
		・子どもの家庭の状況や要望、成育歴を把握している	B	
		・基本的な生活習慣は園児の発達を考慮し、家庭と連携して状況に応じて対応している	B	
	環境を通して行う保育	・子どもが保育士や友達とともに過ごすことを楽しめるような配慮をしている	B	
		・一人一人が興味・関心を持って遊べるように援助している	B	

		・子どもがしたいこと、してほしいことを話しているとき、最後までゆっくり聞くようにしている	B	
		・子どもがのびのびと体を動かせるような遊びの環境を意識してつくっている	B	
		・子どもが自発的に表現するよう、自由に使える様々な素材を用意している	B	
		・生活や遊びの中で、食に関する興味関心が上げられる働きかけをしている	B	
		・園児に分かりやすい温かな言葉使いで穏やかに話をしている	B	
		・身近な自然に触れる機会を用意し、季節感や豊かな感性を育む配慮をしている	B	
		・園児同士の関わりで、順番を守るなどの社会的ルールを身につける配慮をしている	B	
Ⅲ 保護者に対する支援	家庭との連携	・園だより、クラスだより、給食だより、連絡帳などを通して子どもの成長の喜びを保護者と共有できるようにしている	A	<p>・コロナ禍の中、入園式、保護者説明会は新園児のみとしたが、情報が十分行き届かない部分もあったので、今後は方法を検討していきたいと思う。</p> <p>・未満児は年2回、以上児は希望者のみ個人面談を行い、家庭と保育園での情報の共有や、連携、日々の成長を伝えることができた。しかし、今後は日程の設定、時間配分、就学前の個人面談も検討していく必要があると思った。</p> <p>・月3回は未就園児を対象に、子育て支援ひろば「のびっこ」を開設し、できる範囲で園庭開放も行い、親子の触れ合いの場を提供したり、子育ての相談援助も行うことができた。</p> <p>・園だより、クラスだより、給食だよりの他、ホームページによる定期的な写真の公開を行うことで、日頃の子ども達の自然な姿や表情を見ていただくことができた。</p> <p>・地域の伝統的な行事に参加したり、地域の方々との交流や触れ合いを大切にしているが、コロナ禍の中、殆ど実現できなかった。</p>
		・保育参観や懇談会などを通して、保育内容・保育の目的などをわかりやすく説明している	B	
		・個人面談を行ったり、保護者の気持ちに寄り添った子どもの相談援助を行っている	B	
		・毎月の献立は保護者に示され、食事の状況を保護者に知らせている	A	
		・悩みを抱えている保護者の援助を心がけている	B	
	地域における子育て支援	・一時保育・交流保育・子育て支援事業などを行っている	B	
		・地域の関係機関や施設の研修などに参加している	C	
		・保育園からの情報の提供をしている	B	

IV 保育を支える組織的基盤	健康及び安全の実施体制	・子どもの日々の健康状態を把握し、保育をしている	A	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練(火災・地震・風水害)、不審者対応訓練を定期的に行い、年3回、消防署による指導や年1回、中央分団による指導をもとに、非常事態にスムーズに対応できるように行ってきた。 ・健康・衛生管理面では、昨年同様「新型コロナウイルス」の感染拡大により、感染予防対策の徹底を呼び掛けた。また、「新型コロナウイルスへの対応」(フローチャート)を保護者・職員に周知した。 3歳以上児には、給食、午睡の時以外はマスクの着用をするようにしたが、子どもの顔の表情が見えず、より子どもの様子を観察するように配慮してきたが、熱中症の心配もあるため難しいと感じる場面が多かった。 ・新型コロナウイルスの影響で、外部研修は難しかったが、オンライン研修など取り組み、可能な限りで研修に参加した。それぞれが、学んだことを日々の保育に生かしていると感じる。 ・コロナ禍の中、園内研修の全員参加は難しかったが、できる範囲で内容の充実を図ることができたと思う。今後は認定こども園の移行に向けて職員研修も充実させていきたいと思う。
		・園児の健康診断は定期的実施され、その結果は職員や保護者に伝達され保育に反映している	A	
		・衛生管理マニュアルを基に、清掃・消毒などを行い、清潔・適切な状態を保っている	A	
		・施設、設備の安全点検を点検マニュアルに沿って行い不具合な箇所への必要な対策をとっている	A	
		・地震・火災・不審者侵入時などの緊急対応手順を理解している	A	
		・指導計画について、各月の振り返りを行い、次月に向けての計画を検討している	A	
	資質向上	・保育に関する専門書を読んだり、研修に参加し知識や技術の向上に努めている	B	
		・園内研修の計画や会議の持ち方(内容の充実)に工夫がみられる	B	
		・職員として不正、不適切な行為を行わないよう、守るべき法規範、倫理などを理解している	A	
	社会的責任	・守秘義務を理解し、個人情報について、就業規則等に基づき取り扱っている	A	
		・保護者から意見や要望、苦情を迅速に園長に報告し職員間で共有し、改善している	A	
	園運営	・職員がそれぞれの立場を理解し、職員同士連携(協力や助言)をとりながら運営に関わることができている	B	
		・園行事はねらいを計画や実施に十分生かしている	B	
		・園行事の内容は、子どもの活動内容を明確にし、自主的・実践的な活動となっている	B	

以上の通り報告いたします。

令和4年3月31日
 大心寺二葉保育園
 園長 山口郁